

「大阪市学校教育 I C T ビジョン」の策定について

教育委員会事務局

学校教育 I C Tビジョンとは…

大阪市教育振興基本計画に基づき、令和 7 年に開催した「次世代の大阪市学校教育 I C T のあり方に関する有識者会議」のご提言をふまえ、令和 8 年度から 11 年度までの 4 年間を対象に、I C T の活用推進の基本的な考え方と、進めるべき方向性を明らかにし、4 つの基本方針のもと、必要な施策や事業について具体的な取組方策を示しています。

ICTビジョンがめざす将来の姿

徹底したデジタルリテラシー教育や児童生徒の発達段階に応じた端末活用を前提とした上で、児童生徒及び教員が ICT ツール等を自由に使うことができ、やりたいことにチャレンジできる環境を実現します。

ワクワク・遊び・学びを通じて
オモロイ未来の教育

めざす 子ども像



- ・ I C T ツール等を活用しながら、興味・関心や能力・特性に応じて自己調整し、発達段階に応じて自律的・探究的に学ぶことができる子ども
- ・ 多様な他者との協働により、自己の考えを広げ深められるよう学びを進めることができる子ども
- ・ I C T を安全に、効果的に使いこなすことができるデジタルリテラシーを身につけている子ども

めざす 教員像



- ・ 学習者用端末をはじめ、I C T ツールや生成 A I 等のデジタル学習基盤の活用を前提とし、教科横断的な視点で課題を捉え、児童生徒が発達段階に応じて自律的に学習を進める力を身につけ、学ぶ楽しさを知ることができるよう伴走的・探究的に支援する教員
- ・ I C T ツールや生成 A I の校務利用等により、業務改善に取り組み、児童生徒一人一人に寄り添う時間を確保するとともに、急激な社会の変化に柔軟に対応し、児童生徒のウェルビーイングを向上しながら自身のウェルビーイングの向上にも努めることができる教員

支援体制

- ・ デジタル学習基盤の活用を前提とした学習の円滑な実施を可能とするための教育情報ネットワークや校務系・学習系システムの最適化などの環境整備、学校現場への支援体制の強化及び学校の課題に応じた伴走支援
- ・ 児童生徒の資質・能力の育成に資する個別最適な学習環境の整備及びデータに基づく支援、E B P M の推進に資する調査分析の推進

実現するための
4 つの基本方針

基本方針 1
ICTを活用した
安全・安心な教育
環境の実現

基本方針 2
デジタル学習基盤の
活用を前提とした
効果的な学習の推進

基本方針 3
次世代を見据えた
校務DXの推進

基本方針 4
教育DXを推進
するための
支援体制の再構築

基本方針 1・2 の取組を着実に進めるために基本方針 3・4 により環境整備・支援を行う

具体的な取組方策

具体的な取組例

基本方針 1

ICTを活用した安全・
安心な教育環境の実現

- ①安全・安心面における端末活用の推進
- ②徹底したデジタルリテラシー教育の推進

①安全・安心等における端末活用の推進

・「心の天気」、いじめアンケート、相談機能等により、児童生徒の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、児童生徒の理解を深めるとともに、安全・安心面におけるさらなる取組の検討

②徹底したデジタルリテラシー教育の推進

・児童生徒のデジタルリテラシーを育成するための教員研修や指導方法に関する事例提示/デジタルリテラシーの育成を前提に教員・児童生徒の自由な使用をできる限り制限しないフィルタリングルール等の検討

基本方針 2

デジタル学習基盤の
活用を前提とした
効果的な学習の推進

I 日常的な端末活用の定着

- ③授業における端末活用の推進
- ④自主学習・家庭学習等における端末活用の推進

③授業における端末活用の推進

・授業中において、様々な学習教材をクラウド上で共有し、スライドの共同編集等を活用した課題解決型学習、オンラインアンケート等を活用した授業の振り返り等、デジタル学習基盤の活用を前提とした汎用性の高い授業スタイルの確立

④自主学習・家庭学習等における端末活用の推進

・連絡帳のデジタル化、デジタル教材を活用した自主学習・家庭学習の定着/多文化共生を実現するため、翻訳ツール等を活用した指導方法の充実

II デジタル学習基盤の活用を前提とした学習の推進

【徹底したデジタルリテラシー教育や児童生徒の発達段階に応じた端末活用を前提とした上で、児童生徒及び教員がICTツール等を自由に使うことができ、やりたいことにチャレンジできる環境づくり】

- ⑤ICTを活用した「自律的・探究的な学び」の推進
- ⑥児童生徒による生成AI等先端技術の活用推進

⑤ICTを活用した「自律的・探究的な学び」の推進

・ICTツールを活用したSTEAM教育・探究学習の先進事例の創出・共有/ICTツールを活用した予定管理など、児童生徒の自己調整能力の育成/児童生徒一人一人のデータベースやオンライン学習環境の構築

⑥児童生徒による生成AI等先端技術の活用推進

・生成AIを効果的に活用した情報収集など、児童生徒の自律的な学びを支える生成AIの日常的な活用を実現

基本方針 3

次世代を見据えた
校務DXの推進

- ⑦生成AI等先端技術の校務利用
- ⑧次世代の校務DXに向けた校務支援システムの再構築
- ⑨セキュリティ対策を講じた教育情報ネットワークの再構築等

⑦生成AI等先端技術の校務利用

・学校運営に係る業務の効率化など、校務における様々な場面で活用が可能となる生成AI等先端技術の活用促進

⑧次世代の校務DXに向けた校務支援システムの再構築

・校務系の各種マニュアルを集約したチャットボットやLMS（学習管理システム）の導入検討/各種システム間の円滑なデータ連携を見据えたクラウド活用を前提とした校務支援システムの再構築

⑨セキュリティ対策を講じた教育情報ネットワークの再構築等

・「強固なアクセス制御による対策を講じた教育情報ネットワーク」への再構築/アセスメント調査をふまえた校内LAN構成の適正化

基本方針 4

教育DXを推進
するための
支援体制の再構築

- ⑩学校現場への支援体制の再構築
- ⑪教育DXを推進するための人材育成
- ⑫学校の課題に応じた支援、児童生徒の個別最適な学びの推進に資する調査分析

⑩学校現場への支援体制の再構築

・学校現場への支援体制及び学校内での教員や事務職員、ICT支援員、教員業務支援員等の役割分担の整理

⑪教育DXを推進するための人材育成

・「教育DX人材育成方針」に基づき、日々進歩するデジタル技術やデータを活用した学校の業務改善を担う人材育成

⑫学校の課題に応じた支援、児童生徒の個別最適な学びの推進に資する調査分析

・総合教育センター内のシンクタンク統括室において様々なデータを複合的・多面的に分析・検証しながら、学校の課題に応じた支援、児童生徒の個別最適な学びの推進に向けた支援を実施

基本方針 4

⑫学校の課題に応じた支援、児童生徒の個別最適な学びの推進に資する調査分析

令和11年度

研修等により人材育成を実施

様々なデータを複合的・多面的に分析・検証